

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	
		決裁期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 7 日
名 称	上富良野町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会		
日 時	平成 2 1 年 1 0 月 2 3 日 (金) 午後 3 時 4 0 分 ~ 4 時 3 0 分		
場 所	役場 3 階 第 2 会議室		
出席者	委員：佐川泰正、三本孝洋、瀬尾祐二、島瀬良一、安川美音子 オブザーバー：濱田靖弘 ドーコン 山崎 事務局：林、野寺		
内 容	1 開会		
	2 委員長・副委員長の選任 ... 委員長に佐川氏、副委員長に安川氏を選出。		
	3 委員長挨拶		
	4 議事 ... 委員長の司会で議事進行		
	(1) 事業概要について ... ドーコンより概要説明		
	この計画が最上位計画であり、現在策定中の省エネビジョンは本計画に基づ くアクションプランという位置付けとなる。		
	Q 首相が打ち出している CO2 の 25%削減は反映させなくてもいいのか。		
	(三本委員)		
	都道府県においては計画策定が義務付けられているが、北海道の計 画の中では、削減目標値は各自治体に任せる形となっている。最終的 にはどこを落としどころとするかが問題だが、町として現実的な数値 は何%なのかを検討する必要がある。また、実現可能なことを計画に 盛り込んでいかなければならない (ドーコン)		
	Q データ的には、どれくらい削減可能なのか (佐川委員長)		
	計画の最後で、町民、事業者等それぞれの役割でやるべきことを明 記するので、これらをやればこれだけ減る、という表現の形にしたい。 そのために、本委員会では		
	町の中で実行可能なことを洗い出してほしい		
	CO2 の吸収源の取り扱いをどうするか		
	農業由来のウェートが大きい N2O、CH4 を減らせないとす れば、CO2 に引っ張られて減る分をカウントする方法もある ので、ターゲットを何にするかを定める		

